

日本で体感できない球際の闘いの中でも奪いに行けた。
ブラジルとやった時は、動かされるし外されることが多かったが、
粘り強くやり続けることで危ない場面を作られることは少なかった。

- ⇒それができるようになってきた。南米選手を知って予測が出来ていた
- ⇒**昨年の経験値**が活かしている
- ⇒学んでいることがプレーに活かしている

1年生が試合で活躍する場面が増えた。

(山田・下川・中島・梅木)

去年は1年生はほとんど出場できなかった。

(山田が大会参加者の中で唯一の2000年生まれだった)

⇒遠征途中で松岡・山田・中島の3名が帰国。

そのまま国体の関西予選に参加。時差の影響もあった中

3人の得点で関西予選を勝ち上がった。

課題

クロスの守備対応

インテンシティ(力強さ・激しさ)